

類別：機械器具（78） 家庭用電気治療器
管理医療機器 一般的名称：温熱・電気マッサージ組合せ家庭用医療機器（JMDNコード：71006000）

折りたたみ式全身治療ベッド

【警告】

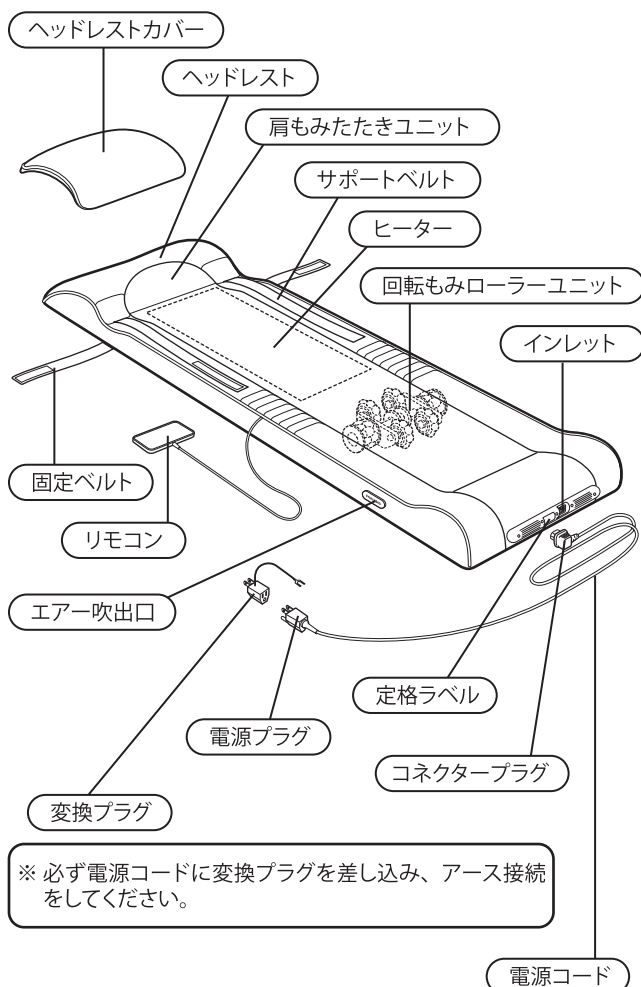
- 医師からマッサージを禁じられている人は使用しない。
- 自分で意思表示や操作ができない人、幼児への使用はさせない。
- 子供には付添いなしでは使用させない。また、本体の上で遊ばせたり、乗せたりしない。
- 交流100V、50/60Hz以外の電源では使用しない。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源コードなどのコード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
- 分解や修理、改造はしない。
- 使用中に身体に異常を感じたときには直ちに使用を中止し、医師に相談する。
- 使用しても効果が現れない場合、医師または専門家に相談する。
- ヒーターを使用する場合には、低温やけどの恐れがあるため、次の注意事項を必ず守って使用する。
 - 睡眠薬などを服用した人やめいてい（酩酊）状態の人は使用しない。
 - 子供や熱に敏感でない人が使用する場合は十分注意し、付添いなしでは使用させない。
 - 必ず、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。
 - 熱すぎると感じたときは、直ちにヒーターを切る。
 - 10分以上の連続使用はしない。
- 使用前に本体の表地が破れていないか確認する。また、その他の部分の表地にも破れがないか確認する。破れがある場合は直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに電源プラグを抜く。
- 肩もみたたきユニット部分や足側のファスナーは開けない。また、ファスナーが開いた状態では絶対に使用しない。

【禁忌・禁止】

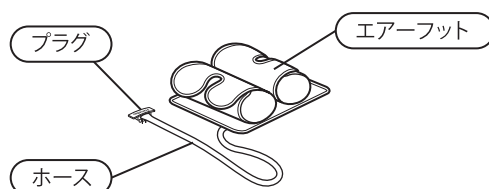
- 次の人は必ず医師と相談のうえ使用する。
 - 医療機関で治療中の人や特に身体に異常を感じている人
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
 - 心臓に障害のある人
 - 温度感覚喪失が認められる人
 - 低温やけどをしたことのある人
 - 生理中や妊娠初期の不安定期または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害からくる知覚障害のある人
 - 皮膚に創傷や異常のある人
 - 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上（有熱期）の人
 - 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性〔とう（疼）痛性〕疾患の人
 - 背骨に異常のある人や曲がっている人
 - 認知症の症状のある人
 - 血圧に異常のある人
 - かつて治療を受けたところまたは疾患部へ使用する人
 - 医師により入浴や運動を止められている人
 - やけど、けが、お灸、手術後で完治していない人

【形状・構造及び原理等】

（1）外観図



※ 電源コードは本製品専用のコードとなっております。紛失、断線などした場合には、必ず、『お客様相談室』にてお問い合わせください。



※ エアーフットはマッサージ器専用部品となっております。温熱治療時には取り外してください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

(2) リモコン

もみローラー治療

「指圧」「回転もみ」「もみ」の3種類のマッサージが選択できます。

強・弱

「回転もみ」「もみ」を選択しているとき、マッサージの強さが選択できます。

治療範囲

「全身」「全身断続」「部分」「ポイント」の4種類の治療範囲が選択できます。

上・下

「全身断続」「部分」「ポイント」を選択しているとき、お好みの位置にローラーを移動できます。

総合治療 ①

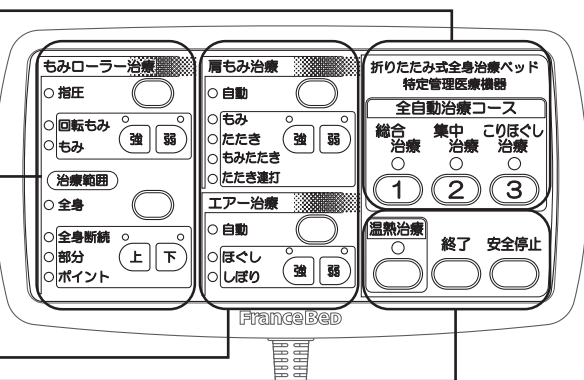
『もみローラー治療』『肩もみ治療』『エアー治療』を織り交ぜながらマッサージを行います。ヒーターは自動的にONになります。

集中治療 ②

『もみローラー治療』『エアー治療』を織り交ぜながらマッサージを行います。ヒーターは自動的にONになります。

こりほぐし治療 ③

『もみローラー治療』『肩もみ治療』を織り交ぜながらマッサージを行います。ヒーターは自動的にONになります。



温熱治療

ヒーターのON/OFFをします。ヒーターのみの使用で温熱治療（ランプが点滅）、マッサージ中は保温状態（ランプが点灯）になります。

終了

マッサージ中にボタンを押すと、動作を中止して終了します。

安全停止

マッサージ中にボタンを押すと、その場で動作が停止します。「終了」ボタンが押されるまで解除されません。

肩もみ治療

「自動」「もみ」「たたき」「もみたたき」「たたき連打」の5種類の肩もみマッサージが選択できます。

強・弱

「もみ」「たたき」「もみたたき」「たたき連打」を選択しているとき、マッサージの強さが選択できます。

エアー治療

「自動」「ほぐし」「しぼり」の3種類のエアーマッサージが選択できます。

強・弱

「ほぐし」「しぼり」を選択しているとき、マッサージの強さが選択できます。

(3) 本体サイズ

寸法：幅65×長さ203×高さ11 (cm)

(頭部18 (cm)、足部15 (cm))

重量：27 (Kg)

(4) 電気的定格

1) 定格電圧 AC 100 (V)、50/60 (Hz)

2) 定格時間 30 (分)

3) 定格消費電力 電気マッサージ器：160 (W)

[電動機120 (W)、电热装置40 (W)]

温熱治療器：55 (W)

4) 感電に対する保護のクラス クラス0Ⅰ機器

5) 電極の有害な水の侵入に対する等級：IPX1

(5) 動作原理

本器の足側には駆動部があり、内部には、ベルト巻取用の駆動モーター、プリント基板、リミットスイッチ等の電気部品と、左右に駆動用の巻取ギヤ等がある。この巻取ギヤの先には左右に樹脂製のガイドレールが1本ずつ取り付けられ、溝の中にステンレス製のベルトが張られている。ベルトは、足元側にある2個1組の巻取ギヤと、頭側にあるベルトプーリーに掛けられ、ベルトを駆動モーターで巻き取ることで、巻取ギヤにベルトが巻かれ、ベルトに固定されている回転もみローラーユニットが、ガイドレールに沿いながら本器の長手方向に移動し、マッサージを行う。このときの駆動モーターの回転数により、施療部の移動速さが決定される。

回転もみローラーユニットのドライブユニット内にある回転もみ用モーターには、駆動部の前側にあるSW電源からベルトを経由して電力が供給される構造となっている。もみローラー治療には、「指圧」「回転もみ」「もみ」の3モードがある。「指圧」モードとは指の形状を模したもみ玉が、もみ及びもみ部の両サイドに配置されている回転ローラーのドラムが動作しない状態で、人体の圧力を受け、施療部を移動させることで指圧をされているかのようなマッサージ感覚を得られるモードである。「回転もみ」モードは、もみ及び回転ローラーのドラムが動作するモードであり、「もみ」モードは、もみ部だけが動作し、回転ローラーのドラムは動作しないモードである。マッサージ効果を得るためのローラーもみ回数と回転もみ振動回数は、ベルトから供給される電力で得られるモーターの回転数により決定される。

エアーマッサージユニット（エアーフット）は脛脛を中心とした脚部左右を、横方向に3分割されたエアーバッグセルで包み、エアーポンプと給排気切替え用の電磁弁を使用して、各エアーバッグセルに順次給排気を行い、マッサージ感を実現する。エアー治療には、3分割されたエアーバッグセルに給気と排気のタイミングを変えた「ほぐし」「しぼり」の2モードがある。エアー圧力は、プリント基板上に実装された圧力センサによって制御され、圧迫圧力が決定される。

肩部に配置されたもみたたき機構は、もみ用のモーターの出力をホイールギヤによりもみ軸に伝達し、もみたたきアームを偏芯回転させることで、もみの動作を実現する。また、たたき用のモーター出力をホイールギヤによりたたき軸に伝達し、もみたたきアームを固定しているロッドを偏芯回転させることで、たたきの動作を実現する。肩もみ治療には、「もみ」「たたき」「もみ及びたたきを同時に動作させる」「もみたたき」「たたきだけを連続動作させた状態で、もみの動作と停止を繰り返すことでたたき幅を変化させる」「たたき連打」の4モードがある。肩もみの回数と肩たたきの回数は、それぞれのモーターの回転数により決定される。

また、ヒーターは、本器底部に配置されていて背中から腰部を温める。本器のヒーターでの温熱効果について、温熱治療器として使用する場合、ローラーは停止状態であり、ヒーターへの通電率が100%となる。これに対しローラーが作動状態のときには、保温状態となり、ヒーターへの通電率は75%となる。

この通電率の違いとローラーが作動することによるヒーターと人体の接触度合いの変化により表面温度が温熱治療状態と保温状態では異なり、マッサージ効果と温熱効果が同時出力されない構造となっている。保温状態は、付帯機能に該当しない機能であり、冬場等寒いときに使用する機能で、治療器としての温熱効果を持つものではない。

本器のモーター、ヒーター及びリモコン等の制御は全てマイクロコンピュータにより行われる。操作はリモコンにより行い、発光ダイオードの点滅とブザー音により操作の確認ができる。

【使用目的、効果・効能】

温熱治療器として電熱による温熱効果、電気マッサージとしてあんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。こと。

【品目仕様等】

治療部の移動速さ	：3/3.5 (cm/ 秒)±15%
肩もみ回数	：弱 30(回 / 分)±30%
	強 44(回 / 分)±30%
たたき・もみたき時	
肩たたき回数	：弱 230(回 / 分)±20%
	強 365(回 / 分)±20%
たたき連打時	
肩たたき回数	：弱 190(回 / 分)±20%
	強 325(回 / 分)±20%
ローラーもみ回数	：弱 35(回 / 分)±30%
	強 44(回 / 分)±30%
回転もみ振動回数	：弱 280(回 / 分)±15%
	強 352(回 / 分)±15%
圧迫空気圧	：弱 36(kPa)±15%
	強 42(kPa)±15%
温熱治療時	
導子部温度定格	：53(℃)±5℃
加温時	
導子部温度定格	：40(℃) 以下
タイマー時間	：10(分) ±10%

【操作方法又は使用方法等】

使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する。

（１）使用時間・使用頻度

使用時間は１回を１０分までとし、１日に１～２回で体調に合わせて使用する。

（２）操作方法の詳細については取扱説明書を参照する。

- １） 固定ベルトをはずし、平らな床の上に広げて使用状態にする。電源コードのコネクターをインレットに差し込み、電源プラグに必ず変換プラグを接続してからコンセントに差し込む。ローラーが足元にない場合は自動的に足元へ移動した後、電源待機状態となる。
- ２） 肩もみたきユニットの位置を確認してから、ゆっくりと仰向けに寝て、肩の位置を肩もみたきユニットに合わせる。
- ２-１） 脚部にエアーフットを装着し、肩を肩もみたきユニットの中央に位置するように体の力を抜いて仰向けに横になる。
- ２-２） ローラーマッサージだけをする場合はエアーフットを横にずらし、温熱治療を行う場合は、エアーフットを外した状態で、肩を肩もみたきユニットの中央に位置するように体の力を抜いて仰向けに横になる。サポートベルトを両脇からベルトを回し装着することにより、上半身へのより強いマッサージが可能となる。

３） リモコンの各ボタンを操作して好みの治療を行う。

４） １日１～２回、１回１０分以内の範囲で体調に合わせて使用する。

５） 使い始めや、ローラーのあたりが強すぎる場合はパッドまたは毛布などを敷き刺激を弱くして使用する。また、エアーマッサージが強すぎると感じた場合は、エアートリートメントの強さ選択ボタンで弱に設定する。もしくはエアーフットを装着する際に、巻き方を緩める等して使用する。

６） 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いて保管する。収納するときは電源コードをはずし、折りたたんでから固定ベルトを固定する。折りたたむと内部の安全スイッチが働くので、電源コードを接続したまま誤ってリモコンを操作してもローラーやヒーターが作動することはない。

（３）安全装置

- ・ 折りたたんだときに電源を遮断する安全スイッチ付。
- ・ 駆動モーター、回転もみ用モーター、肩もみ用モーター、肩たたき用モーターそれぞれに過昇温度保護装置内蔵。
- ・ メイン基板に過電流保護用電源ヒューズ内蔵。
- ・ 機器内部の温度上昇を防止するため、３０分以上連続して使用すると、動作がセーフティモードに切り替わり、マッサージ機能及びヒーターの出力が低下する。

【使用上の注意】

（１）使用条件及び環境上の注意事項

- １） 他の治療器と同時に使用しない。
- ２） 治療目的以外には使用しない。
- ３） 飲酒後や食後３０分以内の人は使用しない。
- ４） 素肌やぬれた身体では使用しない。
- ５） ２人以上での同時使用、腰をかけた状態での使用、立った状態での使用、うつ伏せ状態での使用などはしない。
- ６） 逆向きでは使用しない。ヘッドレストを頭側、インレットを足側にして使用する。
- ７） マットレスなどの柔らかいものの上では使用しない。
- ８） 本体を折り曲げたり、角度をつけたりした状態で使用しない。
- ９） 電気毛布やホットカーペットなどの暖房器具と一緒に使用しない。
- １０） 浴室など湿度の高い場所では使用しない。
- １１） プラグ類にピンやゴミ、水分などを付着させない。
- １２） エアーフットに針やピンなど先端のとがったものを乗せない。
- １３） 突起物や障害物のない水平な場所で使用する。

（２）使用前の注意事項

- １） 電源プラグは確実に最後まで差し込む。
- ２） 必ず電源コードに変換プラグを差し込み、アースを確実に取り付ける。
- ３） 足側には、重量のある機械が内蔵されているので、広げるときには衝撃を与えない。
- ４） 使用前に正常に作動することを確認する。また、しばらく使用していなかったあとに使用するときは、正常かつ安全に作動することを確認する。

（３）使用中の注意事項

- 1) 使用中は眠らない。
- 2) 本体やリモコンを水などでぬらさない。
- 3) リモコンを落としたり、上に乗ったり、引っ張ったり、ぬれた手で操作したりしない。
- 4) 肩もみたたき機能を腰や背中など、肩部以外には使用しない。
- 5) エアーフットを腕など脚部以外には使用しない。
- 6) 肩もみたたきのマッサージをするときに、勢いよく肩のをせたり、強く押し付けて使用したりしない。
- 7) 無理にホースを引っ張ったり、ホースを持ってエアーフットを本体から取り外したりしない。
- 8) ウェイトを身体や脚の下などに置いて、ローラーを作動させない。また、人が使用していない状態でウェイトを置いたままローラーを作動させない。
- 9) 動作中や終了時にローラーが足元へ移動しているときには、電源プラグやコネクタープラグを抜かない。
- 10) 停電したときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜く。
- 11) 動かない場合や、異常のある場合には直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに電源プラグを抜く。
- 12) 『安全停止』ボタンを押して、ローラー動作を途中で停止させた場合は、必ず『終了』ボタンを押してローラーを足元の終点位置まで戻す。
- 13) 使い始めやマッサージが強すぎると感じたときは、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。それでもなお、苦痛や激痛を感じる場合には使用しない。

（４）使用后および保管の注意事項

- 1) 本体を落としたり、衝撃を加えたり、乱暴な扱いはしない。
- 2) 必ず内側に折りたたみ、外側へは折らない。
- 3) ローラーが折り曲げ部付近にあるときは、折りたたまない。
- 4) 折りたたんだ状態で人が乗ったり、重いものを載せたりしない。
- 5) 次の場所では保管しない。
 - ・暖房器具などの近くで直接高温になる場所
 - ・直射日光の長時間当たる場所
 - ・振動や衝撃の加わる場所
 - ・湿度の高い場所
- 6) 縦置き状態で保管しない。
- 7) 上に重い物を載せた状態で保管しない。
- 8) 汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。
- 9) 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
- 10) 使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- 11) 持ち運ぶときはリモコンを本体に挟み、両側の固定ベルトを留め、折り曲げ部を下側にして、両方の固定ベルトを持ち、本体を抱えるように持ち上げて運ぶ。
- 12) お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差しはしない。
- 13) 本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。

【取扱い上の注意】

- （１）安全のため、使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する。

【保守・点検に係る事項】

- （１）常に使用前、使用後の点検を行い、機器に異常がある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、『販売店』へ連絡する。

（２）お手入れの方法

- 1) 本体、エアーフットは、ほこりを払い落とし、中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固く絞ってから軽くたたきように汚れを落とす。
- 2) リモコンは、乾いた布で汚れを拭き取る。

【包装】

1 梱包／1 台

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者名：

フランスベッド株式会社

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 5

電 話：0 4 2－5 4 3－3 1 1 1

製 造 業 者：

フランスベッド株式会社 東京工場

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8

電 話：0 4 2－5 4 3－3 1 1 3

お問い合わせ先：

フランスベッド株式会社 お客様相談室

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 5

電 話：0 1 2 0－3 9－2 8 2 4

販売業者の連絡先

取扱説明書を必ずご参照ください。